

| message | 特別推薦者

本校の教育理念に共感いただき、学びを応援してくださる「特別推薦者」である有識者3名から未来あるみなさんに心強いメッセージをいただきました。あなたの夢を叶えるヒント、受け取ってください。

熊本商工会議所会頭・鶴屋百貨店会長 久我彰登 Akito Kuga

コミュニケーションの主流がデジタルに変わりつつある今、若いみなさんには「リアル」をもっと大切にしてください。リアルな空間でしかできない人とのコミュニケーションを、この学校で体感して欲しいです。情報があふれる社会で、新しいSeeds(種)を発見することは難しい。発見や変化をしていくためには、既存のファクター(情報)同士の新しい組み合わせを試すこと。これがアイデアの種になると思うのです。つまり、自分の気づきと、周りにいる他の誰かの気づきを組み合わせることで何かが生まれる。既に肯定されていることを鵜呑みにするのではなく、自分の尺度・物の見方をきちんと持って、自分を表現するところにこそ新しいアイデアが生まれるのだと考えます。現状を疑い変化を求めるから前に進める。変化こそ進化!! 熊本で、いろんな人とリアルに出会ってください。

PROFILE

熊本市出身、1955年12月31日生まれ。宮崎大学農学部卒。1978年(株)鶴屋百貨店入社、2001年取締役役に就任し、鶴屋東館再開発事業、熊日会館再開発事業、熊本城桜の馬場開発事業等に從事。2011年に同社社長、熊本商工会議所副会頭に就任。2019年より熊本商工会議所会頭、2021年(株)鶴屋百貨店代表取締役会長に就任。



俳優・映画監督 竹中直人 Naoto Takenaka

情報が氾濫する今、何が自分にとっていちばん大切なのか...それを見つけるのは本当に大変な作業です。だから直感を大事にしたい。誰もが知っているもの、すでに評価されているものではなく《まだ誰も知らない、誰の眼にもとまっていないもの》を探したい。多くの人に認められるのは素晴らしいけれど、少数派、マニアックなものにも心を寄せて欲しいです。以前、ミュージシャンの大貫妙子さんに「俺って偏ってるから.....」と言ったら、大貫さんが「偏ってるからいいんじゃない!」って言ってくれた。いい言葉です。落ち込むことも才能。とことん落ち込んだらあとは這い上がるしかない。不安や迷いも自分のともだちだ!!

PROFILE

大学在学中から劇団「青年座」に所属。無類の映画好きが興じてテレビ番組の素人芸コンテストに出場しブルース・リー、松田優作などの形態模写芸で軒並み優勝。NHK大河ドラマ「秀吉」(96)主役に抜擢され高視聴率を記録。『シコふんじゃった。』(92)、『EAST MEETS WEST』(95)、『Shall we ダンス?』(96)では日本アカデミー賞最優秀演技男優賞を受賞。主演も務めた初監督作『無能の人』(91)がヴェネチア国際映画祭で国際批評家連盟賞、第34回ブルーリボン賞主演男優賞を受賞したほか、監督作・出演作で受賞多数。(株)レディバードに所属。母校の多摩美術大学で客員教授も務めている。1956年、横浜市出身。



AIスペシャリスト 茶園将裕 Masahiro Chaen

社会に出る前の学生は、ものすごく有利な立場にいます。AI業界は変化が早すぎて、知識や経験があるだけでは有利にならない。今は、お金をほとんどかけずにAIに触れられる環境が整っていて、パソコンさえあれば触れるし、学生は社会人みたいに時間の制約も少ない。だから、この学校では、新しい情報にどっぷり浸かって欲しいですね。好奇心と学びがあれば、これから何にでもなれる可能性があります。昔はYouTubeもChatGPTもなかった。今はAIに聞けば専門家みたいに相談できる環境があるので、自分の興味を突き詰めていだけなんです。野心とかやる気を失わないようにする、それが大事だと思いますね。

PROFILE

1996年大阪府生まれ。学生時代にオーストラリア・アメリカに留学後、上海に渡り、あしたのチーム上海支店の立ち上げに参画。その後上海にて動画求人サイトの事業で会社を設立。帰国後、人事・マーケティングのコンサル業を行う。2022年秋頃からAIツールに魅了され、寝食を忘れてのめり込み、日本初の世界のAIツールを検索サービス「AI Database」やAIニュースレターの運営、などAI関連サービスを次々とリリース。現在はTwitterなどSNSにてAIトレンドや活用法について情報発信を行い、日本で最もAI活用に詳しい人物として各メディアにも出演。GMO AI & Web3株式会社顧問、一般社団法人生成AI活用普及協会協議員を務めながら、2023年(株)DigiRライズを立ち上げ代表取締役役に就任。



| message | 学校長・理事長からのご挨拶

DENBIは創設から40年。常に時代の要請に応え、若者たちの未来のために尽力してきました。あらためて心を込め、メッセージを送ります。

■ IT新時代を迎える熊本で学ぶ! 羽ばたく!

学校長 内藤 謙一 Kenichi Naito

日本の人口減少が続く時代。熊本の一部エリアの人口急増が話題になっています。2024年末に熊本市外の菊陽町に操業開始した世界的な台湾の半導体メーカーTSMC熊本第一工場の出現による人口増です。ソニー、ホンダ、東京エレクトロン九州など日本のトップ企業の関係会社や営業所の進出とともに新たな商業施設の出店、新たな宅地開発も続いています。すでに建設が開始されたTSMC第2工場も2027年に完成予定。熊本は日本のシリコンバレーとして発展する“地方都市新時代”の象徴として全国から注目されています。

熊本電子ビジネス専門学校は1985年に創設され今年40周年。常に新しい教育を目指す情報系3学科、ビジネス系2学科による教育により5400名を超える優秀な人材が育ち全国に羽ばたいています。また新たな発想や幅広い分野で活躍が求められる時代を考え「SNSフォロワー12万人を誇る話題のITスペシャリスト茶園雅裕氏講演会」を熊本市・熊本日日新聞社ほか多くの企業の後援をいただき本校主催(姉妹校・熊本デザイン専門学校と共催)で開催。会場の熊本城ホールは本校学生と関係企業の皆様の熱気で溢れました。茶園氏には本校の推薦者(アドバイザー)に就任いただき、本パンフレット左ページに氏のプロフィールを紹介しました。

本校の学科は情報系(デジタル)、ビジネス系(アナログ)の2分野に渡っていますがIT技術の高度化が進むにつれそれぞれの裾野が少しずつ重なり始めています。技術革新とともに社会は新たなスキルの人材を求め始めているのです。教職員一同はこのような時代に応えることができる若者育成のために熱い指導を続けています。本校は21世紀を生きる若者が社会で羽ばたくための追い風になる学舎でありたいと歩み続けています。



1951年 東京生まれ。
1974年 多摩美術大学グラフィックデザイン科卒業。
広告会社 (株)電通入社。
CMディレクターとして広告企画制作を担当。
1995年 (株)電通九州クリエイティブディレクター。
北九州支社長、熊本支社長、歴任。
福岡広告協会事務局長、
全日本広告連盟全国事務局長会議議長。
日本宣伝賞選考委員、鈴木三郎助広告大賞選考委員。
A Cジャパン九州制作部会長。
2012年 九州産業大学芸術学部 非常勤講師
2022年 熊本電子ビジネス専門学校校長就任

■ 将来を見渡し、考え、行動できる人へ

理事長 吉山 昌利 Masatoshi Yoshiyama

私たちは、技術が日々進化する現代において、将来社会で活躍できる人材を育成することを目指しています。本校では、実践的な学習環境と、産業界との強固な連携により、皆さんが、即戦力として社会に必要とされる知識とスキルを身につけられるよう努めています。また、専門技術の習得はもちろん、チームでの協働や効果的なコミュニケーションあるいはリーダーシップ、問題解決能力も含めた、人としての基本的な能力や考え方などの「人間力」を重視し、学生一人ひとりが自分の可能性を最大限に引き出せるよう支援しています。

この変化の速い時代を生き抜くためには、常に変化を受け入れ、新しい技術や知識を柔軟に取り入れ、常に進化し続ける姿勢が求められます。

熊本電子ビジネス専門学校では、未来に向かって皆さんが描く夢や目標に向かって果敢に挑戦し続けることができるよう、充実したサポート体制を整えています。

皆さんが本校での学びを通じて、自らのキャリアを切り開き、社会に貢献できる人材に成長されることを心から願っています。熊本電子ビジネス専門学校で新たな一歩を踏み出しましょう。

皆さんの挑戦を、心よりお待ちしております。



大学卒業後、不動産コンサルティング会社を経て、帰郷。
学校法人未来創造学園設立当初より常務理事を務め、
平成30年度理事長に就任。